

子どもケミネット・JEPA共催 国際市民セミナー

# プラスチックに使われる 内分泌かく乱化学物質

プラスチックの原料や添加剤には、ビスフェノール類やフタル酸エステル類など内分泌かく乱物質(いわゆる環境ホルモン)が多種類使用されています。それらが溶出して生態系や人体、とくに生殖系や胎児から発達期の子ども達に悪影響を及ぼすことが、疫学研究や動物実験で明らかになっています。

2024年11月に韓国釜山で開催された国際プラスチック条約の第5回政府間交渉委員会(INC5)にも、学術団体・米国内分泌学会代表として参加された、レオナルド・トラサンデ博士に、プラスチックに使われている内分泌かく乱化学物質の危険性について最新情報を解説していただきます。

**3月6日(木)**

19:00 開始 21:00 終了



参加費：無料  
逐次通訳付き  
オンラインでの開催  
参加申込：  
QRコードまたは  
下記URLより  
ご登録下さい

<https://x.gd/jV5Im>

講師：

レオナルド・トラサンデ博士  
Dr. Leonardo Trasande

ニューヨーク大学医学部教授  
『病み、肥え、貧す 一有害化学物質があなたの体と未来をむしばむ』(光文社)の著者であり、2019年に来日し当会で講演をお願いしました。目下、米国の環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)問題の第一人者と言えます。



## <署名活動へご協力を！>

本年11月25日から12月2日まで、プラスチック条約・第5回政府間交渉委員会(INC5)が韓国・釜山で開催されました。本交渉は合意には至りませんでした。INC5.2を開催し、交渉を継続することが決定しています。

子どもケミネットでは、プラスチック条約に有害化学物質の規制を各国に義務づける条項を盛り込ませよう、日本政府に働きかけるための署名活動を行っており、第1次集約分**6万7180筆**(11月11日時点)を、日本政府へ提出しました。

現在、INC5.2に向けて、引き続き署名活動を行っています。子ども達の健康を守るために、ぜひ署名活動にご協力ください！



オンライン署名  
のページ

共催：有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)  
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議(JEPA)

事務局：〒136-0071東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F

■本件に関するお問い合わせはメール([kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp](mailto:kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp))またはお電話(03-5875-5410)で

このセミナーは2024年度地球環境基金の助成を受けて開催されます。